

八千代工業株式会社

第70回定時株主総会

2023年6月20日

事業報告

連結計算書類

計算書類



第70回(2022年度) 定時株主総会 招集ご通知

2022年4月1日～2023年3月31日

開催情報

日 時 2023年6月20日(火曜日)
午前10時30分(受付開始予定 午前9時30分)

会 場 埼玉県川越市脇田本町22番地5
ラ・ボア・ラクテ 4階 大会場

インターネット及び書面による議決権行使期限
2023年6月19日(月曜日) 午後5時まで

会社法の改正に伴い、株主総会資料の電子提供制度が2022年9月1日に施行されましたが、第70回定時株主総会においては、電子提供制度の適用初年度である事を考慮し、書面交付請求の有無に関わらず、招集ご通知を従前どおりお送りしております。

目 次

第70回定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	5
第1号議案 剰余金の処分の件	5
第2号議案 取締役5名選任の件	6
第3号議案 監査役1名選任の件	11
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	12

事業報告	13
連結計算書類	37
計算書類	44
監査報告	49
ご参考	55

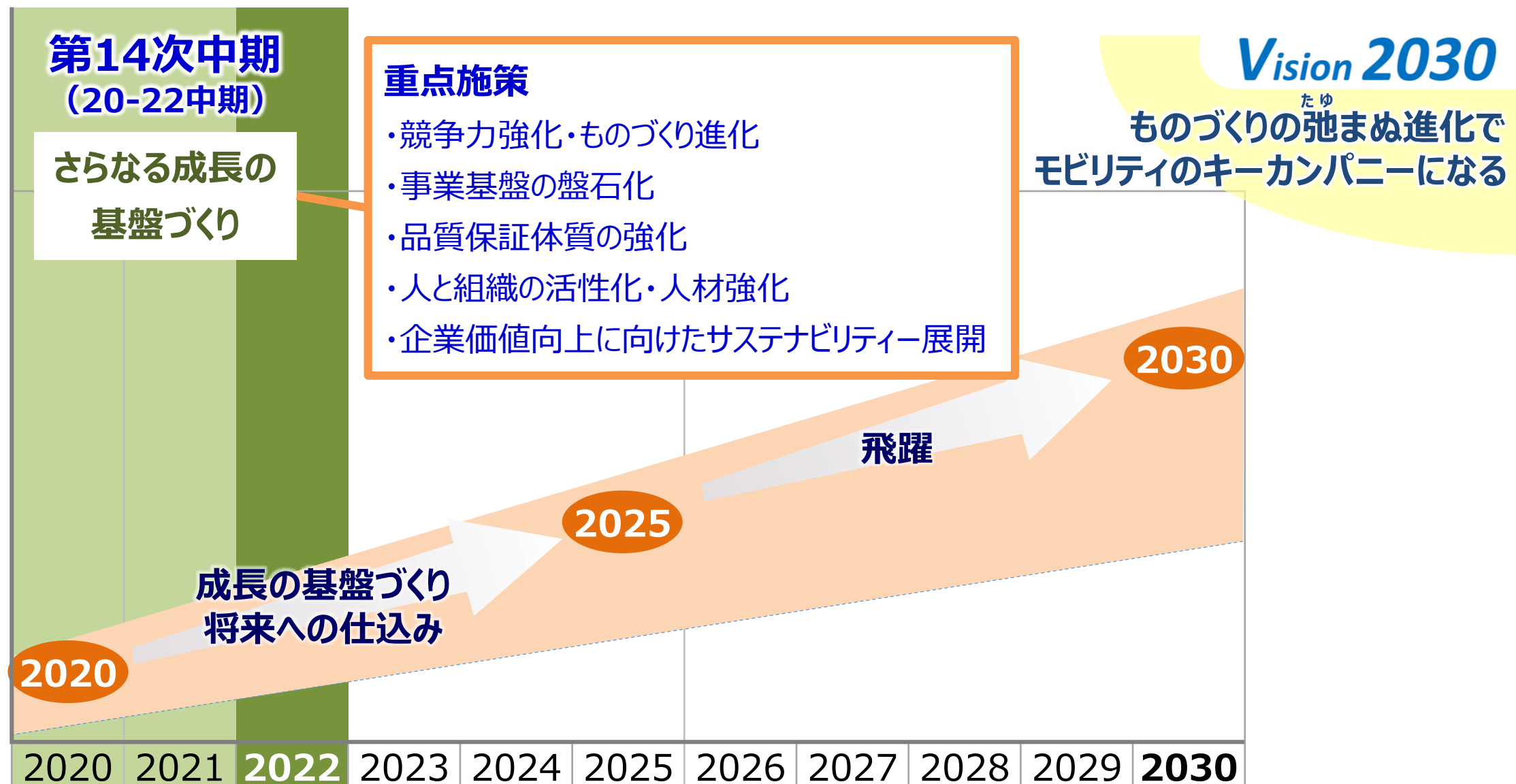
招集ご通知13～48ページをご覧ください

2022年度の経済情勢

- 全世界的**
 - ・半導体の供給不足による、各種製品の生産量が減少したまま推移
 - ・原油を始めとする原材料価格の高騰

- 国内**
 - ・為替は円安傾向で推移 → 原材料をはじめとする輸入品の物価が高騰
 - ・コロナ感染拡大が収束し、個人消費は持ち直す

- 海外**
 - ・米国、中国 コロナ禍からのリバウンドで個人消費が堅調
 - ・アジア諸国 内需を中心に景気が回復基調



将来を見据えた施策を展開し、次の中期、2030年へと繋げる

サンルーフ

-  **大手自動車メーカー様**
インド **ボードサンシェードを新規受注**
2024年夏ごろ生産開始予定
-  **現地の自動車メーカー様**
中国 **ロールサンシェードを新規受注**
2024年春ごろ生産開始予定
同社からさらに一機種を受注



燃料タンク

-  **マルチ・スズキ様**
インド **2機種目受注**
2022年7月から生産開始



マルチ・スズキ アルト



樹脂・塗装部品

-  **ダイハツ様**
日本 **バンパー 3機種目を受注**
2023年末頃から生産開始予定

- トヨタ様**
大型樹脂外装パーツを受注



-  **GPX様**
タイ **二輪向け17部品を受注**
生産量を拡大



-  **部品メーカー様（3社）**
米国 **合計で15の電着塗装部品を受注**



販路拡大に向けた展示会への出展



広州モーターショー 2022.12

当社製品の商品力や技術力を発信した



インドAUTO EXPO 2023.1

サンルーフが急成長するインドにて現地の自動車メーカーからご興味をいただいた



FC EXPO 2023.3

当社の水素社会への取り組みを自動車以外の産業界へ認知を広げることができた



各展示会で積極的に製品PRを行った

最大サイズのパノラマサンルーフを北米で生産開始



生産拠点



ヤチヨ マニュファクチュアリング
オブ アメリカ エル エル シー
(ジョージア州)

- ・大きなガラス部から採光によりこれまでにない開放感を実現
- ・室内側は薄型のロールサンシェードを採用し、広い頭上空間を実現



北米で販売されているHonda
PILOT (2023モデル) に搭載

北米地域における生産ラインアップを拡充

パノラマサンルーフを現地生産化

北米におけるパノラマサンルーフの需要拡大に対応

従来



中国で生産し北米へ供給

現在



北米において現地生産化

サンルーフ戦略



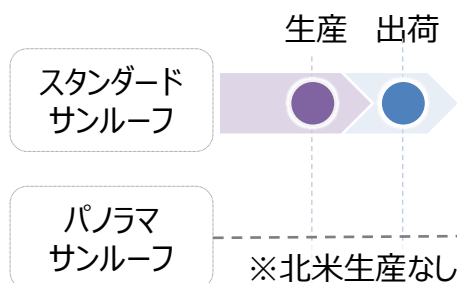
製品ラインナップ充実



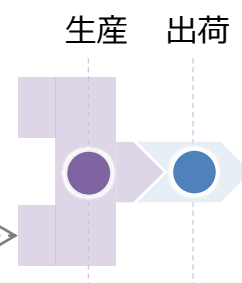
コスト競争力向上

生産ラインの効率化

従来



現在



樹脂部品内製化

従来

燃料タンク
内蔵機能部品

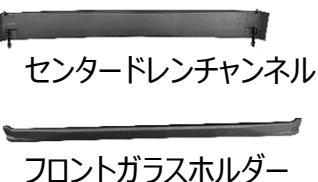
現在

燃料タンク
内蔵機能部品

サンルーフ
構成部品

樹脂成形技術・設備を活用し、
内製化を拡大。低コスト化を実現

内製化した
樹脂部品



同一ラインでタイプの異なるサンルーフを生産することで体質を大幅に向上

標準化やデジタル化、自動化を全拠点へ水平展開

間接部門

- ・業務フロー見直しによるショートプロセス化
- ・労務、給与など定型的なデータ集計作業のRPA※で自動連携

※ ロボットによる業務自動化

生産部門

- ・現場帳票の電子化による入力や確認業務等の効率化

これまで

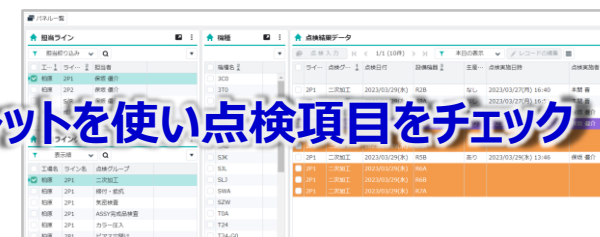


紙に手書きで入力

今後



電子タブレットを使い点検項目をチェック



DX展開計画

14次中期	15次中期									
2023年3月期以前	2024年3月期									2025年3月期
	間接部門：営業・購買、総務など事務系を効率化 ■ 海外拠点									
	生産・開発部門：仕業点検表 ■ 国内生産拠点および開発拠点									■ 海外拠点
	生産部門：生産日報									

業務の電子化/RPA化により、DXを加速展開

取り組みへの思い

過去の反省と教訓を生かし

より強固な未然防止策へ進化

品質検証による体質維持と改善

お取引先と協力し「品質検証/品質パトロール」を実施

- ・品質システム改善
- ・生産準備&品質実績に基づく工程検証
- ・品質システム維持継続検証

管理項目の遵守徹底



作業遵守レベルの向上



遵守状況を合同で検証

Honda サプライヤーアワード 受賞

 米国 品質・調達部門 優秀賞



 中国 調達部門 優秀賞



さらに品質保証の強化に取り組んだ結果、お客様からの表彰につながった

企業風土改革に向けた取り組み

一致団結への変革

社内コミュニケーションの活性化

従業員同士および経営と従業員がコミュニケーションを図れる
施策を展開



TOPとの直接対話で従業員のモチベーション向上



地域を超えた一体感、目的意識の向上イベント

働きやすい職場環境

育休制度の充実

社内コミュニケーションツールの活用で
制度を浸透。男性の取得率も向上



自ら挑戦し進化する集団への変革

アイデアコンテスト

アイデアを具現化できる機会の創出で、従業員自らが挑戦する機運を高め、
チャレンジ意欲を向上



交流イベントの充実

職場でのレクリエーション活動

従業員のご家族を職場に招待し、
家族ぐるみでの一体感を向上



事業環境の変化に対応する企業体質を目指し施策を実施した



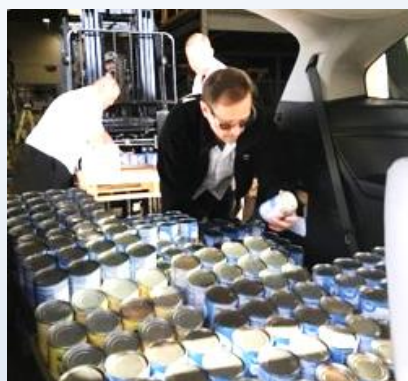
中国 米や油等の食料品を寄付



インドネシア 地震災害支援



米国 フードドライブの実施



日本

就労支援 パン販売代行



就労支援施設のお二人（中央）

隣接する企業と環境整備



隣接企業から感謝状をいただく

社会から期待される企業を目指し、地域社会への貢献活動を継続的に行った

連結業績

製品別業績

セグメント別業績

	2021年度	2022年度	前年度比
売上収益	1,642億円	1,882億円	+240億円 (+14.6%) 
営業利益	105億円	109億円	+4億円 (+4.0%) 
税引前利益	119億円	123億円	+4億円 (+3.5%) 
親会社の所有者に 帰属する当期利益	52億円	60億円	+8億円 (+15.9%) 

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

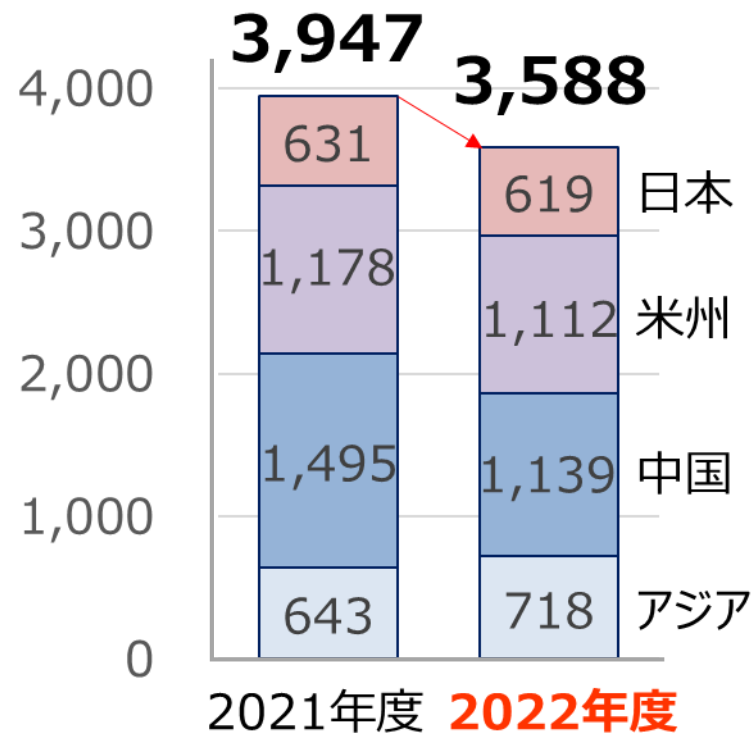
製品別業績



アジアで生産台数が増加
日本、米州、中国では減少

生産台数

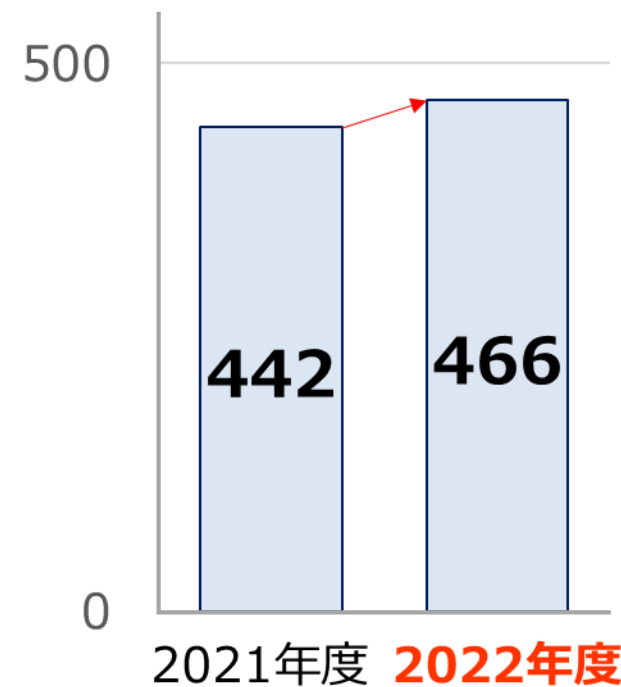
単位：千台



前年度比 -359千台
(-9.0%)

売上収益

単位：億円



前年度比 +24億円
(+5.4%)

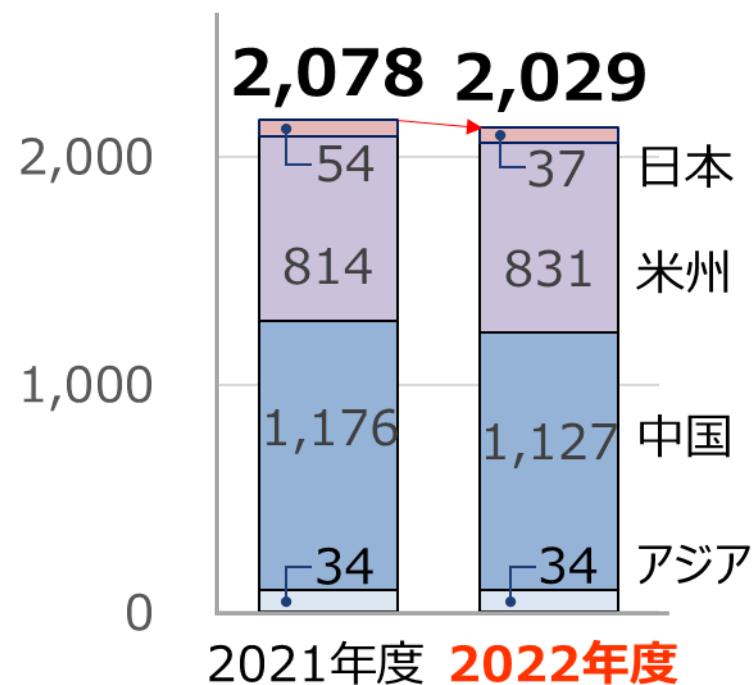
※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



米州で生産台数が増加
日本、中国、アジアでは減少

生産台数

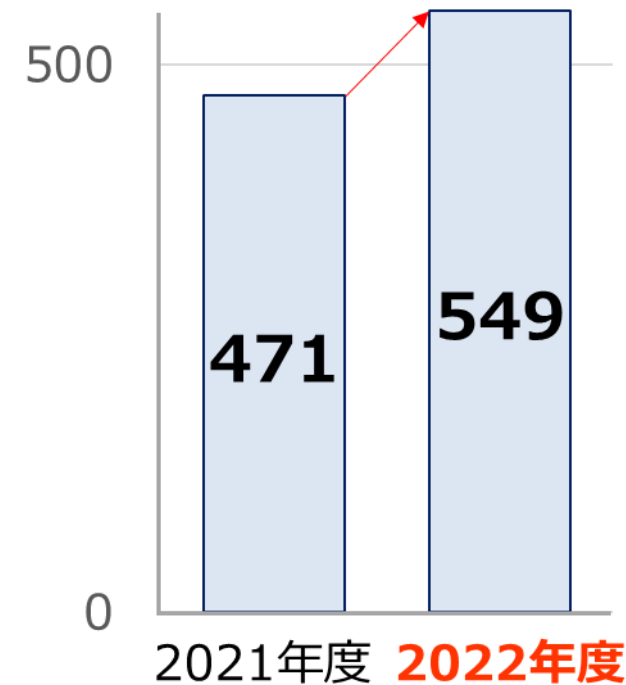
単位：千台



前年度比 -49千台
(-2.4%)

売上収益

単位：億円



前年度比 +78億円
(+16.6%)

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



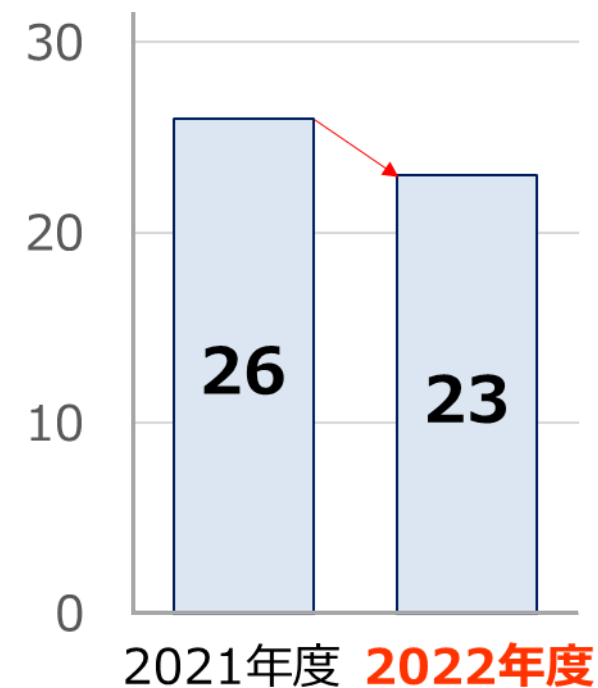
バンパー



オプション用品

売上収益

単位：億円



前年度比

-3億円
(-12%)

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



フレーム



メタルキャタライザー
(触媒)



マフラー

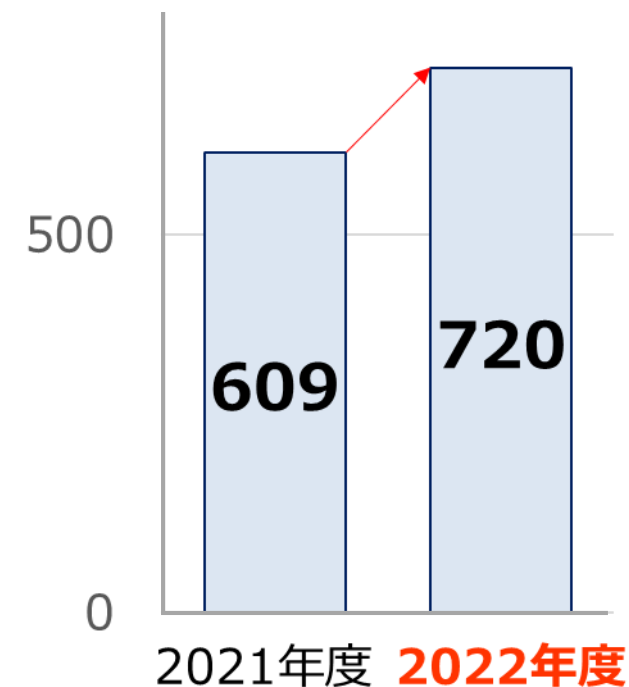


フェンダー、カウル

日本、アジアで生産台数が回復
為替換算上の増収影響により増収

売上収益

単位：億円



前年度比 +111億円
(+18%)

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

セグメント別業績

	2021年度	2022年度	前年度比
売上収益	239億円	266億円	+27億円 (+11.5%) 
税引前利益	12億円	13億円	+1億円 (+11.2%) 

主な製品



燃料タンク



サンルーフ



樹脂部品



二輪部品

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

・売上収益

・税引前利益

新型コロナウイルス感染症からの受注の持ち直しなどにより増収
受注の増加、原価改善効果などにより改善

	2021年度	2022年度	前年度比	
売上収益	285億円	398億円	+112億円 (+39.3%)	↗
税引前利益（損失）	-23億円	-13億円	+10億円 (－%)	↗

主な製品



燃料タンク



サンルーフ

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

・売上収益

機種構成差や為替換算上の影響などにより増収

・税引前利益

機種構成差などにより改善

	2021年度	2022年度	前年度比	
売上収益	531億円	529億円	-2億円	(-0.5%) ↓
税引前利益	102億円	86億円	-16億円	(-15.5%) ↓

主な製品



燃料タンク



サンルーフ

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

・売上収益

半導体供給不足による受注の減少などにより減収

・税引前利益

受注の減少などにより減益

	2021年度	2022年度	前年度比
売上収益	587億円	690億円	+103億円 (+17.6%) 
税引前利益	28億円	37億円	+9億円 (+34.2%) 

主な製品



燃料タンク



サンルーフ



樹脂部品



二輪部品

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

・売上収益

・税引前利益

新型コロナウイルス感染症からの受注の持ち直しなどにより増収
受注の回復により増益

連結財政状態計算書 連結損益計算書 連結包括利益計算書 連結持分変動計算書 連結キャッシュ・フロー計算書 貸借対照表 損益計算書 株主資本等変動計算書



第70回(2022年度) 定時株主総会 招集ご通知

2022年4月1日～2023年3月31日

開催情報

日 時 2023年6月20日(火曜日)
午前10時30分(受付開始予定 午前9時30分)

会 場 埼玉県川越市脇田本町22番地5
ラ・ボア・ラクテ 4階 大会場

インターネット及び書面による議決権行使期限
2023年6月19日(月曜日) 午後5時まで

会社法の改正に伴い、株主総会資料の電子提供制度が2022年9月1日に施行されましたが、第70回定時株主総会においては、電子提供制度の適用初年度である事を考慮し、書面交付請求の有無に関わらず、招集ご通知を従前どおりお送りしております。

目 次

第70回定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	5
第1号議案 剰余金の処分の件	5
第2号議案 取締役5名選任の件	6
第3号議案 監査役1名選任の件	11
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	12
事業報告	13
連結計算書類	37
計算書類	44
監査報告	49
ご参考	55

招集ご通知37～48ページをご覧ください

	2021年度	2022年度	前年度比
資産合計	1,433億円	1,423億円	-10億円
負債合計	669億円	574億円	-95億円
親会社の所有者に帰属する持分合計	626億円	698億円	+72億円
非支配持分	138億円	152億円	+14億円
資本合計	764億円	849億円	+85億円
負債及び資本合計	1,433億円	1,423億円	-10億円

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

当社単独業績

	2021年度	2022年度	前年度比		
売上高	212億円	238億円	+26億円	(12.1%)	↗
営業利益	3億円	5億円	+2億円	(99.9%)	↗
経常利益	82億円	114億円	+32億円	(38.4%)	↗
当期純利益	36億円	98億円	+62億円	(174.6%)	↗

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

経営方針、経営環境 及び対処すべき課題等



第70回(2022年度) 定時株主総会 招集ご通知

2022年4月1日～2023年3月31日

開催情報

日 時 2023年6月20日(火曜日)
午前10時30分(受付開始予定 午前9時30分)

会 場 埼玉県川越市脇田本町22番地5
ラ・ボア・ラクテ 4階 大会場

インターネット及び書面による議決権行使期限
2023年6月19日(月曜日) 午後5時まで

会社法の改正に伴い、株主総会資料の電子提供制度が2022年9月1日に施行されましたが、第70回定時株主総会においては、電子提供制度の適用初年度である事を考慮し、書面交付請求の有無に関わらず、招集ご通知を従前どおりお送りしております。

目 次

第70回定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	5
第1号議案 剰余金の処分の件	5
第2号議案 取締役5名選任の件	6
第3号議案 監査役1名選任の件	11
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	12
事業報告	13
連結計算書類	37
計算書類	44
監査報告	49
ご参考	55

招集ご通知16～17ページをご覧ください

15中（23-25中期） 全社施策

- 1 技術・製品の確立による競争力強化
- 2 さらなる事業基盤の盤石化
- 3 品質保証の定着と質の向上
- 4 風土改革の実行と人材強化
- 5 サステナビリティ展開と実践

Vision 2030

たゆ
ものづくりの弛まぬ進化で
モビリティのキーカンパニーになる

第16次中期（26-28中期）

飛躍に向けたチャレンジ

変革した要素で独創性を発揮し、新たな創造へ進む

第15次中期（23-25中期）

変革の仕込みと事業体質の盤石化

新たな技術・製品の確立、風土改革が完了

第14次中期（20-22中期）

さらなる成長の基盤づくり

収益基盤の確保 健全化 風土改革



2020



2025



2030

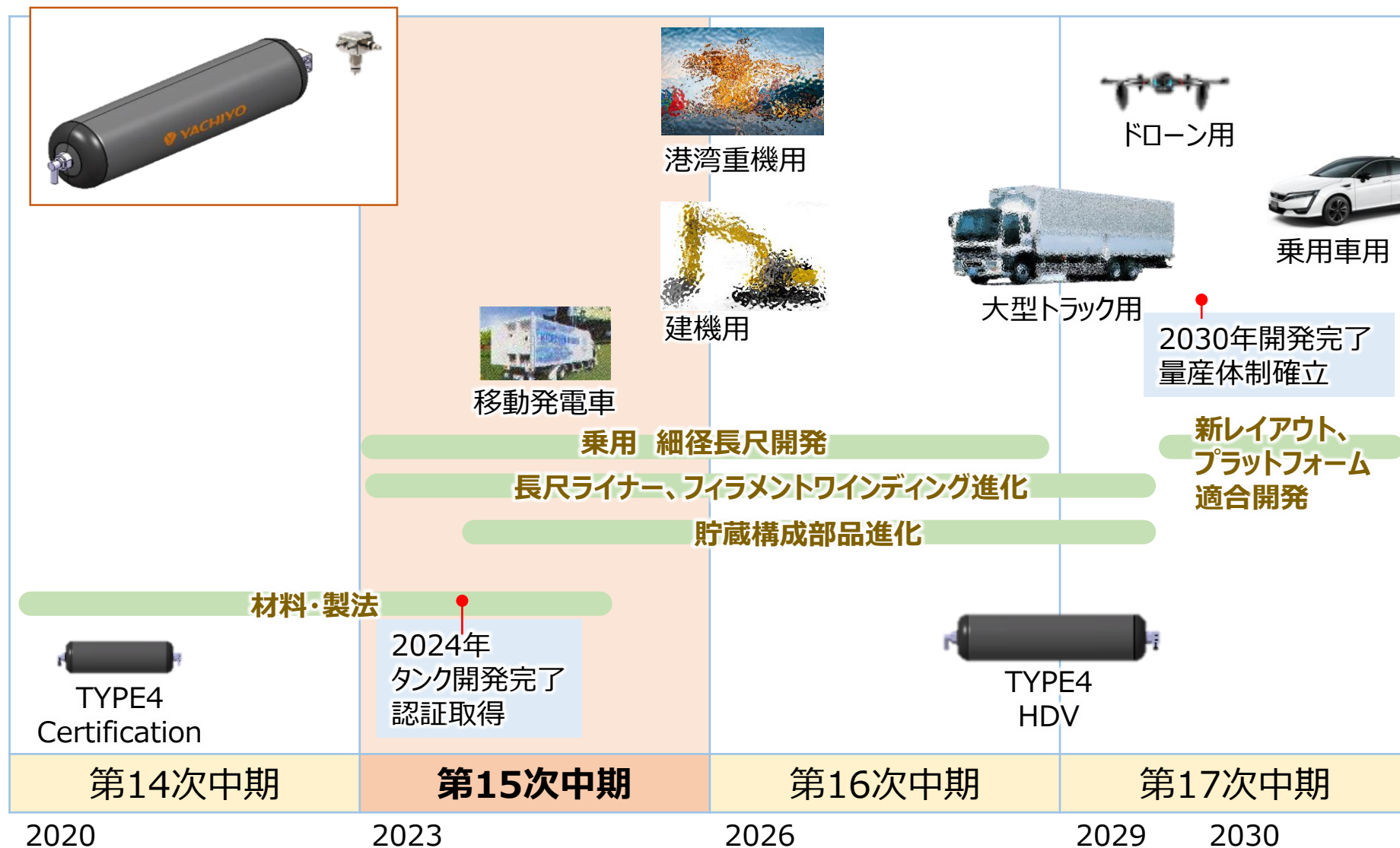
飛躍

成長



樹脂外板部品へ製品領域を広げるうえで、必要な要素技術を確立していく

変革の仕込みの具体的事例 高圧水素容器の開発



将来の普及期にむけて、多様な仕様の量産体制の確立を目指す

インド サンルーフの現地生産に向けた準備を展開



インドにおけるサンルーフ市場の拡大に対応



ヤチヨ インディア マニュファクチャリング プライベート リミテッド

2019年

工場を拡張
出荷検査を開始

組立を開始（予定）

拠点の建屋を拡張 2019年に済

新規受注に伴い工場建屋を拡張

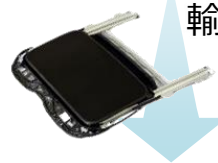


納入前のお荷検査を開始



中国で生産

輸出



インドで製品検査
お客様へ納品

サンルーフの組立を現地化（予定）

組立の現地化、部品の現調化により競争力強化



※生産ラインはイメージです

さらなる競争力強化を目指し、サンルーフ組立開始に向け準備を進める

サンルーフ



インド

成長市場



スタンダードサンルーフ



中国

拡大市場



スタンダードサンルーフ



パノラマサンルーフ

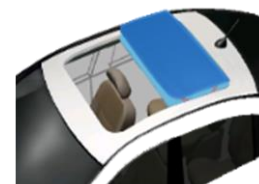


ガラスTOP薄型ロール
サンシェードモジュール



米国

成熟市場



パノラマサンルーフ



リアスライドウィンドウ



ガラスTOP薄型ロール
サンシェードモジュール

樹脂・塗装部品



日本

バンパー、バックドアなどの
大型樹脂成形部品



タイ

二輪車用カウルなどの
樹脂成形部品



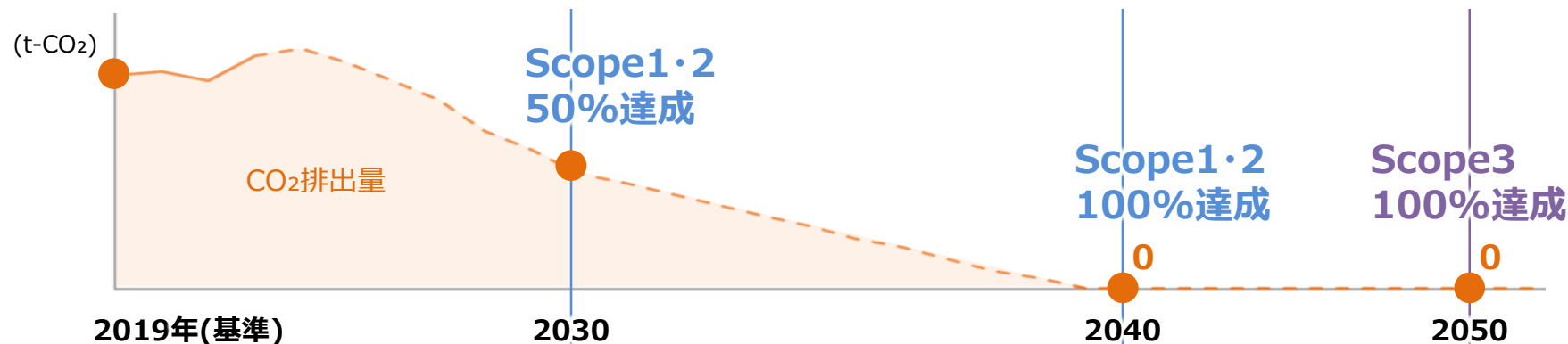
米国

電着塗装部品

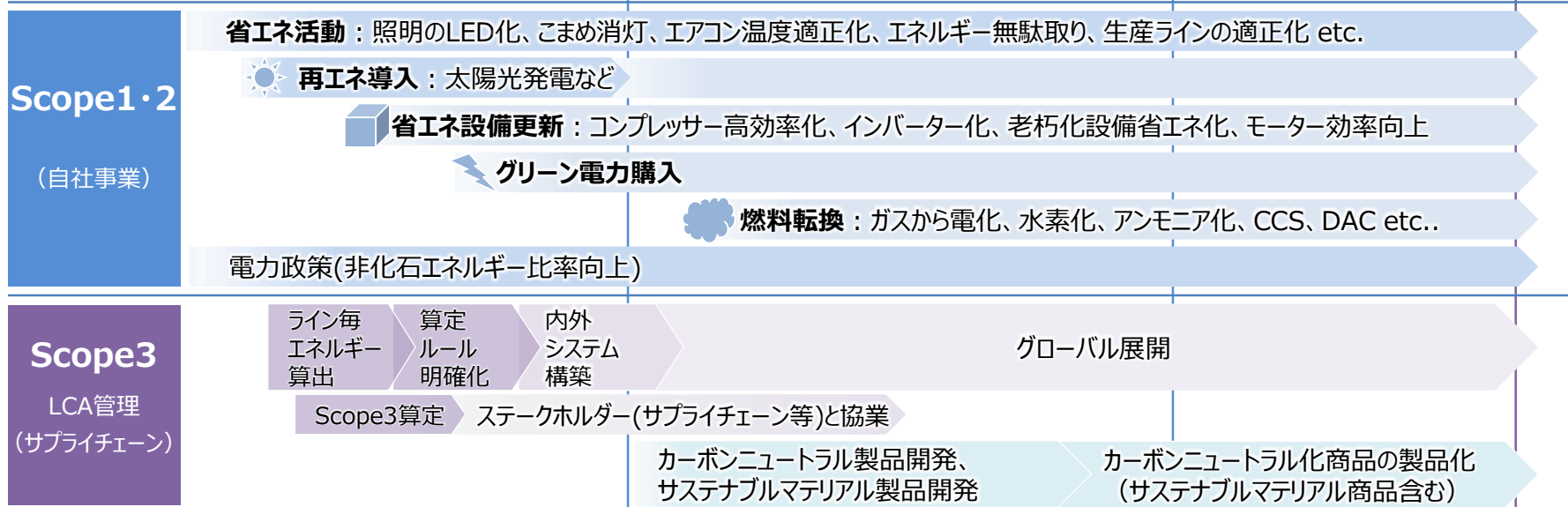


各地域のニーズの変化を注視し、得意とする製品で販路を拡大

CO₂排出量削減目標



具体施策



設定した目標に対し、削減策を展開していく

	2022年度 (実績)	2023年度 (見通し)	前年度比	
売上収益	1,882億円	1,740億円	-142億円	(-7.6%) ↓
営業利益	109億円	95億円	-14億円	(-13.2%) ↓
税引前利益	123億円	92億円	-31億円	(-25.4%) ↓
親会社の所有者に 帰属する当期利益	60億円	33億円	-27億円	(-44.7%) ↓

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております